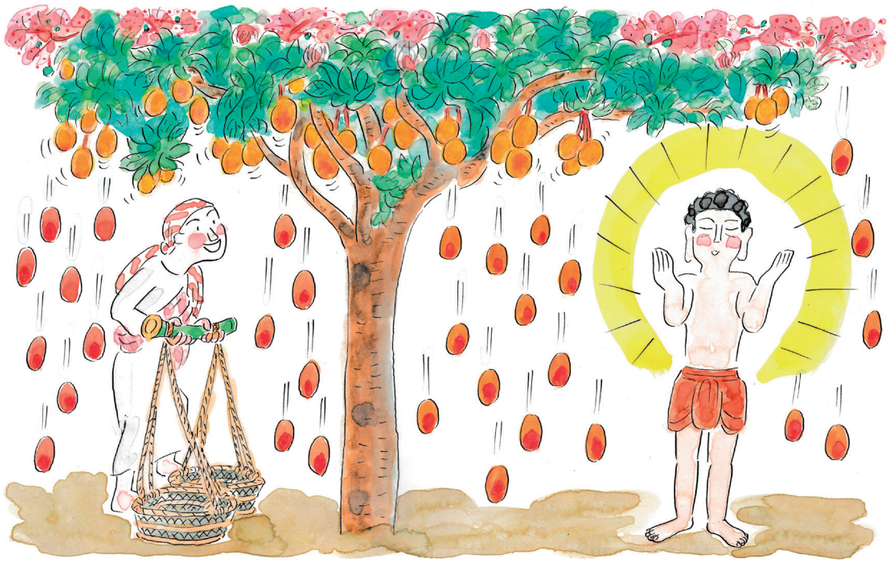
真宗大谷派（東本願寺）天満別院

六字城

724号

2025 3/1

大阪市北区東天満1―8―26
06―6351―3535
代表者 輪番・奥林 曉



マンゴーの雨

遠い昔のインドです。ある日、若いバラモンが街でマンゴー売りとすれ違い、その美しい形とおいしそうな香りにひかれて後について行きました。そこは貧しく虐げられたチャンダーラの人々の村でした。若者はおやっと思いました。マンゴーの林はありましたが実はついていません。今はその季節ではないのです。でもカゴにはマンゴーが山盛りです。若者はマンゴー売りの小屋を訪ね、その妻に頼みました。

「私はあの不思議なマンゴーの魅力に取りつかれました。どうか私を弟子にしてください」

妻は驚きました。カーストのトップのバラモンがカーストにも入れないチャンダーラの弟子になりたいというのです。マンゴー売りは気が進みませんでしたが、妻に負けて許しました。若者はよく働きました。家事一切を手伝い、子供たちの家庭教師もしました。妻は有難くて夫に言いました。

「あなた、そろそろマンゴーの秘密を明かしてあげては」

若者は確かによく働きました。マンゴー売りには気にかかるところがありましたが、妻のいう通りマンゴーの秘密を明かしました。林の奥のひときわ高いマンゴーの木にマンゴー売りは長い呪文を三回唱えました。するとたちまちマンゴーの花が開き、実がつき、どんどん色づいて雨のように降ってくるのです。若者は予想どおりだったと喜び、長い呪文を毎日必死で覚えました。師匠と同じように呪文が言えるようになったのでマンゴーの雨がふりました。若者は嬉しくて街で売り歩くと季節はずれの美味しいマンゴーは評判になり、とうとう王様に届きました。

「こんな見事な季節外れのマンゴーは魔法で実らせるに違いない。一度余に見せよ」

若者はさっそく王様の一行をマンゴーの林へ案内し、いよいよ呪文を唱えようとした時でした。

「ところでお前の師匠はだれかね？」

若者はドキッとしました。まさかチャンダーラの名前を言えず、高名なバラモンの名前を言いました。そのとたん口がこわばって呪文が出ません。若者はとっさに二つ目の嘘を言いました。

「王様、今日は星の巡りが悪いようです」

「馬鹿な！魔法を使う者が今までそれに気づかないはずはない！」

王様の怒りに触れた若者はその場で財産没収、国外追放になりました。

〈ジャータカ四七四菴羅果本生物語〉

カースト　三千年以上も続くインドの身分制。インド政府は改善に取り組んでいるが根深い。

チャンダーラ　古代インドにおける賤民を指し「旃陀羅」ともいう。真宗大谷派ではこの「旃陀羅」の言葉が人間の尊厳を否定する根源的な差別語として捉え、現在差別解放の歩みを進めている。

法要・行事予定

3月

11日	東日本大震災犠牲者追弔会　（8時）
12日	闡如上人御逮夜・永代経　（14時）
13日	闡如上人御命日晨朝兼日中　（8時）
15日	合唱団「みのり」　（14時）
17日	春季彼岸会 並 総永代経法要 兼 墓地納骨（物故者）追弔法要 （13時30分） 小松　崇師　（第15組泉勝寺） 「龍樹大士出於世」
25日	蓮如上人御祥月命日晨朝兼日中　（8時）
27日	宗祖聖人御逮夜　（14時）
28日	宗祖聖人御命日晨朝兼日中　（8時） 法話：輪番

4月

12日	一如上人御祥月命日晨朝兼日中　（8時） 闡如上人御祥月逮夜・永代経　（14時） 合唱団「みのり」　（14時）
13日	闡如上人御祥月命日晨朝兼日中　（8時）
14日	琢如上人御祥月命日晨朝兼日中　（8時）
20日	大阪教区慶讃法要団体参拝　（12時）
24日	綽如上人御祥月命日晨朝兼日中　（8時）
27日	宗祖聖人御逮夜　（14時）
28日	宗祖聖人御命日晨朝兼日中　（8時） 法話：輪番
29日	花まつり　（13時）

おあさじにお参りしましょう!!

毎朝7：45分～8：30頃まで

※土、日は職員と門徒さんによる感話があります。

一人でも多くのご参詣をと、願い続けています。

天満別院花まつり開催

来る4月29日（火・祝）天満別院花まつりが開催されます。詳細は4月号同封のチラシをご覧ください。たくさんのご参拝をお待ちしております。

今月の伝道掲示板

真実を探している
ものを信じよ。
真実を見つけた
ものは疑え。
―アンドレ・ジット―

五蘊盛苦とは、自分の心や身体すら思い通りにならない苦しみのこと。

先日、「心や身体が元気すぎるあまり自分を持て余し、他の言葉を聞くことができない悲しさ」と表現されている文章を読み、持て余していることにさえ気づけていなかったこと、その為に聞くことができていなかったことが悲しさであると新たなモノの見方をいただきました。

（H）

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社
（株）天満花重
〒530-0041
大阪市北区天神橋3-4-6
電話　(06)-6351-3875
FAX　(06)-6351-6260

地域のお客様の毎日に、
「おいしい」「ワクワク」「ハッピー」を
お届けするスーパーマーケット
ライフ東天満店
〒530-0004
大阪市北区東天満
1-8-14
TEL 06-6357-1100

春季彼岸会
並
総永代経法要

兼・墓地納骨（物故者）追弔法要

日時　3月17日（月）午後1時30分

講題　「龍樹大士出於世」

法話　小松　崇 師（15組泉勝寺住職）

講師からのメッセージ

宗祖親鸞聖人が著述された正信偈は、真宗門徒にとって最も身近なお聖教です。この正信偈の前文に「しかれば大聖の真言に帰し、大祖の解釈に関して、仏恩の深遠なるを信知して、正信念仏偈を作り」と、著述された理由を述べておられます。そこには、釈尊がお説きになった『仏説無量寿経』こそが真実の言葉であり、時代や環境、状況や個人差の相違はあっても、この本願念仏の教えを聞信し、伝えてこられた高僧方を讃仰される宗祖を見ることができます。

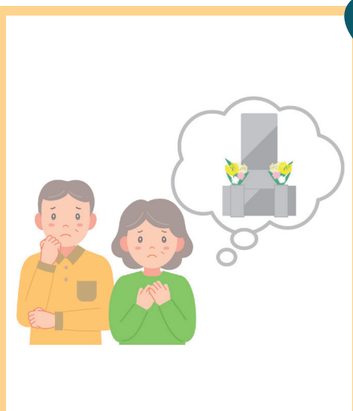
この高僧とは、インドの龍樹菩薩・天親菩薩・中国の曇鸞大師・道綽禅師・善導大師・日本の源信僧都そして師の法然上人で、本願念仏の大道を歩まれ、伝持された浄土の七高僧と仰がれた人たちです。

正信偈の結びに、「道俗時衆、共に同心に、ただこの高僧の説を信ずべし」と、私たちに説かれています。

今回は、龍樹菩薩の段を取り上げて、皆様と共に本願念仏の教えを学ばせていただきたいと存じます。

Q&A

「墓じまい」が増えていると話題になっていますが、どうなんでしょうか？



答え

最近、供養の方法が多様化し「墓じまい」の数が過去最多となり納骨堂が不足しているとか、お寺と檀家様の間で金銭的なトラブルが起こり「墓じまい」ができないというニュースを見聞きすることがあります。

「墓じまい」とは、ご遺骨の引っ越しのことです。お墓を撤去して更地にするだけで、お終いではありません。まず、ご遺骨の引っ越し先を探さなければなりません。樹木葬や合祀墓が選択肢になると思いますが、永代供養墓としながら実は使用期限がある霊苑も多いです。

真宗大谷派であれば、大谷祖廟や天満別院合祀墓への納骨も一つの方法です。

「墓じまい」のことで相談を受ける方のお話しで最も多いのが、子や孫も遠方に居て、お墓のことで迷惑をかけたくないということです。しかし、本当に子供たちは、両親のお墓を引き継ぎ守ることを迷惑と思っているのでしょうか。自分の親が亡くなった時、お墓に納骨して香華を供え「南無阿弥陀仏」と称え、お墓参りをしたいと思っていないでしょうか。

最も大事なことは、「墓じまい」を始める前に子や孫、親類縁者とお墓の相続の仕方について、十分に話し合い、家族の繋がりを今一度見直す契機とすることではないでしょうか。

色々な文化・生活様式を受け入れ、多様性を尊重する考えがもてはやされていますが、日本独自の文化・生活様式を守っていくことも、大事であると思います。

（第13組 教安寺 洲﨑 善樹）

ご報告

2月 同朋の会

去る2月5日（水）同朋の会が開催され、仏間にてDVDを鑑賞しました。その後お茶会を開き参加された方々は、現在も天満別院の近くで暮らされている方が多く、思い出話をされながら懐かしい一時を過ごされました。

鑑賞会の様子

お茶会の様子

2月 定例法話

2月24日（月）御講師に16組浄興寺 藤澤 敦子師をお迎えし、講題「つながりを求めて」についてお話いただきました。

師は、つながりとは気付きであると話されコロナ禍で確かめることができたと話されました。また「今、いのちに目覚めるとき」の歌詞の冒頭が煩悩の三毒を表していて煩悩がなければ人間ではないと話され、作詞された茨田通俊さんの願いも紹介をされていました。

最後にピアノを演奏されながら三曲ほど歌われ見事な声量と透き通るような歌声を披露していただきました。

16組 浄興寺 藤澤 敦子 師